

10月定例市長記者会見

福山市少子化対策専門家会議

～少子化対策の強化に向けて～

○これまでの取組

2017年度の福山ネウボラ創設以来、切れ目ない相談支援の充実など様々な取組を実施（少子化対策）

- 男性の育休取得促進などの働き方改革の推進
- 不妊治療費の助成や第2子以降の保育料無償化などの経済的支援
- 出会いの場の創出を通じた結婚支援

○課題

- 合計特殊出生率の低下（2017年：1.67→2023年：1.46）
- 出生数の減少（2017年：3,964人→2023年：3,053人）
- 未婚化の進行（20代後半男性 2015年：67.4%→2020年：70.2%
女性 2015年：54.0%→2020年：55.3%）

○今後の対応

少子化に関係する分野で知見を有する専門家会議を設置

これまでの取組や地域特性を踏まえ、更に充実すべきことや新たに取り組むべきことなどについて専門的な見地から議論いただき、政策提言を受ける。

福山市少子化対策専門家会議

～少子化対策の強化に向けて～

○構成委員(予定) ※50音順

主な専門分野	委員	所属	主な経歴
社会保障・人口問題	(座長候補)	国立社会保障・人口問題研究所(調整中)	—
経済・雇用 (働き方改革)	正保 正恵	福山市立大学教育学部 名誉教授	福山市「みんなのライフスタイル 応援会議」委員
ライフデザイン支援 アンコンシャス・バイアスの 解消	白河 桃子	昭和女子大学 客員教授	内閣官房「地域少子化対策 検証プロジェクト」委員
結婚支援	山田 昌弘	中央大学文学部 教授	内閣府「男女共同参画会議」 専門委員
子育て支援	吉田 正幸	株式会社保育システム 研究所 代表取締役	厚生労働省「社会保障審議会 少子化対策特別部会」委員
プレコンセプションケア	(調整中)	—	—

○スケジュール(予定)

- ・第1回会議 10月下旬開催
※2026年2月まで 4回程度開催

(内容)
第1回 現状と課題の共有
第2回～ 対策の方向性や具体的な
施策について議論

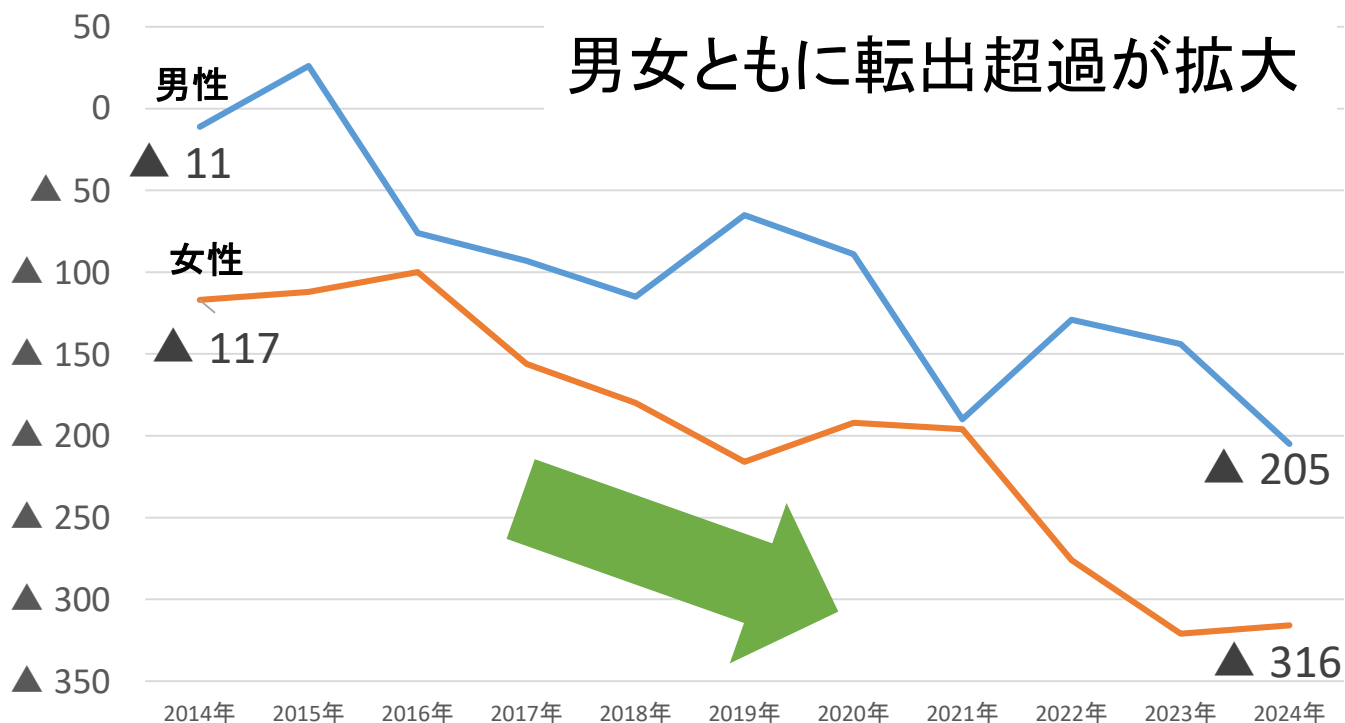


- ・2026年2月 提言書取りまとめ

若者・女性が働きやすい職場づくりに向けて

○現状

20～24歳転出入増減(福山市)



総務省「住民基本台帳人口移動報告」

○大学生が望む職場像

- ①自分のやりたい仕事ができる(97)
- ②福利厚生が充実している(65)
- ③学校で学んだことが生かせる(63)
- ④職場の雰囲気が良い(55)
- ⑤仕事を通じて高いスキルが身につく(48)
- ⑥給料が良い(44)
- ⑦成長が見込まれる会社(36) など

※回答者196人 複数回答有 ()内の数値は回答数

福山市「大学生就職観調査2024」

1 「働きやすい職場部会」の取組

～大学生の声を反映した今後の取組について～



【これまでの取組の検証】

- ・人事評価制度の見直し
- ・休暇制度等の改善
- ・社内コミュニケーションの促進
- ・自己啓発・研修の充実

【今後の取組】

- 社会貢献活動等を含む人事評価制度の体系化 …①③
- 多様な働き方に対応した休暇制度等の導入 …②
- 部署を越えた従業員同士の交流機会の創出 …④
- 階層別研修や他社との合同研修の導入 …⑤

⇒先進企業(8社)による実践 10月開始

さらにグリーンな企業プラットフォーム参加企業への取組拡大

2 「ふくやまワーク・ライフ・バランスEXPO」の開催

～働き方改革に対する理解促進～

11月12日 エフピコアリーナふくやま サブアリーナ

●働き方改革セミナー

子育てや介護と仕事を無理なく両立
できる働き方改革の実践に係る
セミナー



株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役
こむろ よしえ
小室 淑恵さん

●ワーク・ライフ・バランスコーナー

3つのブースを設置

- ☞体験 業務効率化に役立つツールを体験
- ☞事例紹介 市内企業の働きやすい職場の
実践事例紹介
- ☞相談 働き方改革の推進を後押しする
制度や 仕組みなどについて相談

10月定例市長記者会見

ネウボラセンターの利用状況(9月6日～9月28日)

①訪問者数、相談件数

0歳～3歳向け遊び場(拡充)



約 5,600 人

対前年比
約1.8倍

4歳～8歳向け遊び場(新規)

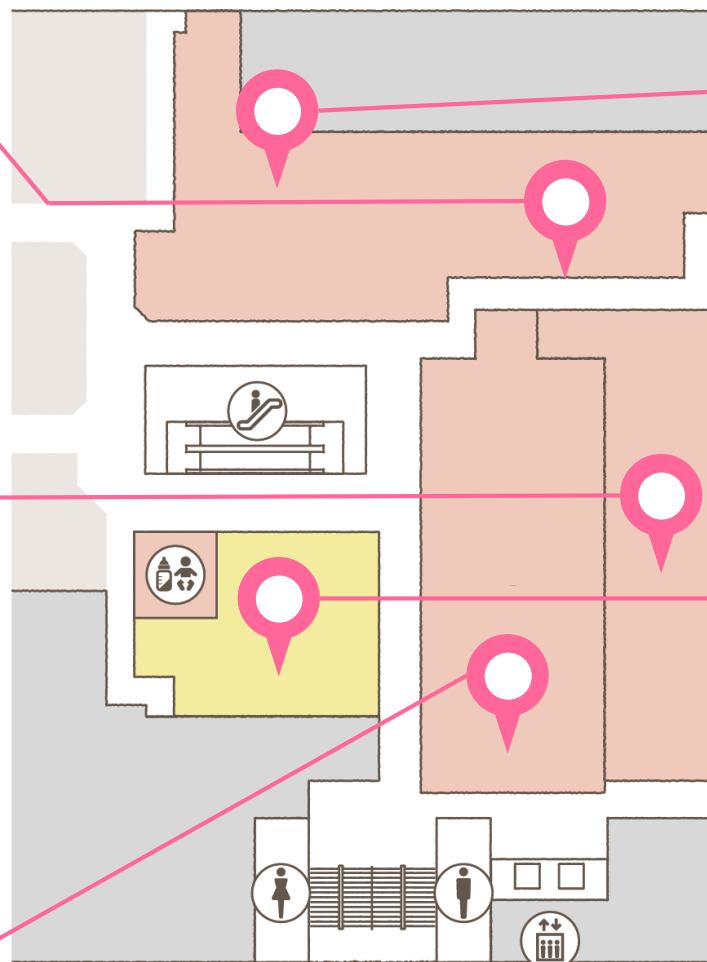


約 4,900 人

対前年比
約1.6倍

えほんの国

約 5,300 人



宮通り側

子育て相談

対前年比
約1.0倍

178 件

- ・妊娠、出産に関すること
- ・発育に関すること など

若者相談(新規)

17 件

- ・不登校
- ・ひきこもり など

手続(新規)

65 件

- ・保育所入所等に係る手続 など

②市民の反響や手応え

遊び・交流



天候を気にせず、遊べる場所ができてよかった。

少し大きい子が遊べる場所が少なかったなので、このような施設ができて嬉しい。

利用定員があって、安心して遊べた。

同じ悩みを持つ保護者と話ができる機会が増えた。

【こどもの安全対策（４歳～８歳）】

- ・利用定員２５組
- ・４０分の入れ替え制（休日）

【親同士の交流促進】

- ・ふれあい親子ヨガ
- ・ピーナッツひろば（双子等のこども）その他、多数開催中

相談・手続



子育て相談と一緒に保育の手続ができるので、便利になった。

商業施設は相談に行きにくいと思っていたが、親子の笑い声が聞こえるなど雰囲気がよく訪れやすい。

休日に相談や手続ができて助かる。

③課題や改善点

○ ネウボラセンターの周知

- ・ 利用を促進するため、若者相談や保育等の手続に関する情報発信を強化（広報ふくやま、LINE、HP等）

○ 利用しやすい環境づくり

- ・ 遊び場における受付時の時間短縮のため、入退管理を記名式に加え、2次元コードも導入
- ・ 駐車場の混雑緩和のため、引き続き、提携駐車場の情報発信に注力（天満屋と連携）

④4月の本格運用に向けて

- ・ 多職種の職員配置による専門性の強化
- ・ 若者が活動できる多目的スペースの設置

 **こども・若者の相談・手続のワンストップ化**